

【1 地域の子育て支援の充実】

【主な取組】＜実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生委員・児童委員協議会、市町、保健所＞

① 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築	吉川松伏 医師会	・医師会は、市、町と連携して、集団乳幼児健診をおこなった。 ・4ヶ月を12回、9ヶ月を12回、1歳8ヶ月を12回、3歳4ヶ月を12回、発育発達相談を12回に医師を派遣した。
	草加八潮 医師会	小児科、産婦人科に従事する医師、医療機関を中心に、診察、相談等に対応した。
	越谷市 歯科医師会	母親学級・妊産婦歯科検診で、埼玉県・埼玉県歯科医師会作成の「お口の母子手帳」を活用し、妊娠中から出産、出産後から6歳までの歯育て、そして歯・口の急なけがをした時の対応をわかりやすく説明し、妊産婦の方に安心・安全な支援を行うことを周知徹底しています。
	春日部市民 生委員・児 童委員協議 会	「子育て広場」 子育て中の親子を支援する取り組みとして年間を通じて毎月定期開催 保育士、保健師も参加するため母親同士の情報交換の他に子育てに関する専門的なアドバイスも受けられることが毎月の参加に繋がりにリピーターが多い
	春日部市	【こども相談課】 平成30年4月から、市役所本庁舎1階に子育て世代包括支援センターを開設した。助産師、保健師の専門職員を配置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っている。また、子育てに関する情報の提供や各種申請受付など、総合的な支援を行うワンストップ窓口として対応している。
	草加市	・次年度に子育て世代包括支援センターを設置するため、先進自治体への視察等を行い、準備を進めた。
	越谷市	・平成30年4月に子育て世代包括支援センターを市役所と保健センターの2か所に開設した。子育て世代包括支援センターでは、母子健康手帳を交付する際に、保健師や助産師などの専門職が、妊婦さん全員と面談を実施し、本人の体調や育児不安の有無、生活状況などを把握しながら、仕事と子育ての両立などの様々な悩みや不安に対する相談や、子育てに関するサービスなどの情報提供を行い、安心して出産・子育てが出来るよう、妊娠中からのサポートを行った。 平成30年度 母子健康手帳交付数 2,938件 支援プラン作成数 274件
	八潮市	平成30年10月に「にじいろ子育て相談室（子育て世代包括支援センター）」を開設した ・母子健康手帳交付時面接人数 425人 ・来所相談延人数 25人 ・電話相談延人数 262人
	三郷市	・保健師が随時、母子の健康に関する相談及び指導を行った。延実施者数：訪問指導445人、来所相談209人、電話相談2,858人。 ・平成30年4月に妊娠期から子育て期にわたる子育て家庭（妊婦を含む）の総合相談窓口として健康福祉会館2階に子育て支援ステーションほほえみを開設した。 ・子育て支援ステーションほほえみでは妊娠届出時等に妊婦との面談を実施し、支援が必要な方には支援プランを作成し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施。 ・子育て情報を掲載した「にこにこ子育て応援ガイド」を作成し妊娠届出時等に配布。 ・利用者支援事業（基本型・特定型・母子保健型）を実施し、子育て支援施設や保育所等の利用に関する相談や情報提供を実施。
	吉川市	「子育て世代包括支援センター」を開設。母子手帳交付時の面接等によりアセスメントを行い必要に応じてサービスや他機関を案内。
	松伏町	平成31年4月の子育て世代包括支援センター設置に向け、支援体制の構築の準備を進めた。母子手帳交付時に保健師との面接を実施、特定妊婦等にはケースカンファレンス・支援プランを計画し、その後の支援につなげる切れ目のない支援体制が構築できた。 *平成31年4月1日、子育て世代包括支援センター稼働。
	草加 保健所	・平成30年度母子保健連携調整会議（妊娠期からの虐待予防強化事業関係者会議兼ねる）（平成30年5月21日実施：12人参加、平成30年11月9日実施：15人参加） ・小児慢性医療給付申請時の療養状況確認（面接等）実施（平成30年度末承認件数530件） ・小児慢性受給児対象の長期療養児教室（平成30年11月8日実施：16人参加） ・子どもの心の問題に関する研修会（平成30年8月30日実施：94人参加） ・小児精神保健医療推進連絡会議（平成31年2月7日実施：27人参加） ・管内4市の要保護児童対策地域協議会に出席（計43回）
	春日部 保健所	医療機関と市町の連携強化のため、医療・保健等の関係職員を対象に連携会議及び事例検討会等を開催した。 ・妊娠期からの虐待予防強化事業連携会議（2月1日 参加者 21人）

② 小児救急医療体制の維持・充実	春日部市医師会	平成28年7月より春日部市立医療センターの開設と同時に現在の体制がスタートした。医師会、行政、医療センターが連携をとり、外部の医療機関からもさらなる医師の派遣体制を確立することで、平日夜間の小児救急医療の整備、充実を図った。
	越谷市医師会	越谷市が公設公営設置している夜間急患診療所において、小児科専門医をはじめ医療スタッフを派遣し、初期救急に対応している。越谷市立病院や獨協埼玉医療センター小児科との後方連携による二次救急にも対応している。
	吉川松伏医師会	・小児時間外診療事業として、14医療機関に於いて、平日午後7時から10時まで当番制で実施した。(吉川10医療機関、松伏4医療機関) ・平成30年度は、241日を実施した。また、受診者数は521件、電話相談61件であった。また、二次救急へ3件を紹介した。
	草加八潮医師会	草加市子ども急病夜間クリニック、八潮市休日診療所等に医師派遣など積極的に関わり対応した。 実績値 草加市子ども急病夜間クリニック 5,116人/年 八潮市休日診療所 1,329人/年
	三郷市医師会	日曜・祝日の休日診療所の運営、平日夜間の輪番制による小児時間外(初期救急)診療及び土曜日夜間の病院施設を利用した同診療体制の実施。
	草加市薬剤師会	子ども急救夜間クリニックに対応し、当番制の薬局等を通じ、草加市立病院、草加八潮医師会の先生方との連携の維持、充実をすすめている。
	春日部市	【健康課】 ・在宅当番医制による祝休日の初期救急・・・1日につき3か所(内・外・小児)実施。73日開所、受診者数4,622人(小児のみ)。 ・平日夜間の小児初期救急・・・春日部市小児救急夜間診療所の開所(年末年始を除く)。244日開所、受診者数869人。 ・東部南地区(6市1町)による小児二次救急・・・6医療機関により夜間365日+祝休日昼間73日実施。救急搬送人員数3,115人。
	草加市	・夜間及び休日の子どもの応急的な初期診療を行うため「子ども急病夜間クリニック」を運営し、365日の診療に対応した。
	越谷市	・休日当番医制事業(休日、年末年始)を実施した。 ・越谷市夜間急患診療所において、小児科の診療を毎日実施した。 平成30年度 受診者数 2,914人 ・埼玉県東部南地区の構成市町と連携し、小児救急医療支援事業を実施した。 また、市立病院も輪番制病院として参加した。
	八潮市	日曜、祝日、振替休日及び年末年始に初期救急診療(休日診療所)を実施した 【H30年度】 ・1歳未満 74人 ・1歳～就学前 432人 ・小学1年～15歳 252人
	三郷市	・小児時間外(初期救急)診療事業を当番医療機関で実施した。542人(月～土曜日の19時～21時まで実施) ・休日、日曜夜間診療を医師会立休日診療所で実施した。3,127人(日曜・祝日・休日及び年末年始の昼間は10時～12時と14時～16時、日曜の夜間は18時～21時) ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、第二次救急小児救急医療支援事業を実施。
	吉川市	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において小児救急医療支援事業を実施。
	松伏町	・小児時間外(初期救急)診療を吉川市と連携して、吉川・松伏医師会協力の下実施した。 ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、小児救急医療支援事業(2次救急)を実施した。
	草加保健所	・埼玉県東部南地区第二次救急医療体制を適切・円滑に運営するため、平成30年度下半期及び平成31年度上半期の第二次救急医療病院群輪番制病院及び小児救急病院当番表を管内関係機関に配布した。
春日部保健所	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会に参加し、状況の確認、意見交換を行った。(2回)	

③ 小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発	越谷市医師会	当会ホームページ上にある「医療機関検索」を、より分かり易く、より使い易くなるようバージョンアップし公開している。また、夜間急患診療所を利用した患者保護者に対して、「かかりつけ医」の重要性と子どもの健康について丁寧に説明し対応している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・市、町と連携し、小児時間外診療事業の実施医療機関等のリーフレットを作成し、住民配布をした。 ・医師会ホームページにおいて、小児時間外診療事業の実施医療機関の情報を公開した。 ・夏季・年末年始の医療機関の診療状況についてもホームページにおいて公開した。
	草加八潮医師会	草加市、八潮市からの情報提供、健診事業、予防接種事業への協力を積極的に行った。
	越谷市歯科医師会	越谷市内の保育所歯科医（公・私立）学校歯科医が健診、学校保健会等で教職員、保護者に歯・口のけがへの対応方法、受診方法の情報提供を行っています。
	春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報9月号において、適切な受診方法の周知。 ・平成30年度ゴミニケーション・健康情報カレンダーに「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」の啓発文を掲載し周知。 ・市広報、公式ホームページ等により、「埼玉県救急医療相談」の周知。
	草加市	・広報やホームページを通じて、急な病気やけがへの対処方法として、埼玉県救急電話相談についての情報提供を行った。
	越谷市	・広報誌やホームページ等を活用し、埼玉県救急電話相談（#7119）や夜間急患診療所の情報提供を実施した。
	八潮市	市の広報誌やホームページに埼玉県小児救急電話相談（#7119）や休日・夜間診療所の案内等を掲載し、情報提供を行うとともに適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	三郷市	・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）と、小児時間外（初期救急）診療体制について、本市発行「健康のしおり」（全戸配布）やホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	吉川市	案内配布やポスター掲示などにより埼玉県救急電話相談（#7119）を周知。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療当番表を作成して、3月及び9月に全世帯に配布するとともに、広報誌やホームページに当番表を掲載した。 ・小児救急電話相談（#8000）を広報誌やホームページに掲載し、適切な受診方法の啓発に努めた。
	草加保健所	・急な病気やケガに対する県民の不安の解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードを来所者に配布した。
	春日部保健所	急な病気やけがに対する県民の不安解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードの配布。

【2 生活習慣病を踏まえた健康づくり対策】

【主な取組】＜実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、看護協会、市町、保健所＞

① 食生活、 運動等に 関する正し い知識の普 及や情報提 供	春日部市 医師会	入居するふれあいキューブ健康祭や各公民館での会員による健康講話等を引続き実施した。
	吉川松伏 医師会	・市と町と連携し、ノルディックウォーキングなどの促進のために、医療機関窓口にはポスター 掲示やリーフレットの配布をおこなった。
	草加八潮 医師会	生活習慣病予防に向けて正しい知識の普及啓発など、草加市、八潮市で実施する市民健康教育公 開講座等に積極的に協力した。
	越谷市 歯科医師会	「お口と栄養と運動の元気塾」の開催。-フレイルを予防しよう- オーラルフレイルの重要性について普及啓発を行いました。 今年度も継続して行っております。
	埼玉県 看護協会	平成30年度取り組み状況 *平成30年5月11日(金) 11:30~13:00 第9支部会員が看護の日イベントとして健康相談、血管年齢測定、血圧測定、 リーフレット配布を健康相談活動を行った。 東武スカイツリーライン新越谷駅1Fコンコース 来場者数延べ190名 *平成30年5月13日(日) 第8支部会員が看護の日健康相談活動を行った。 イトーヨーカドー久喜店 来場者数120名 *平成30年11月13日(火) 14:00~15:30 第9支部会員が地域住民にむけて講演会を行った。 テーマ「健康体操で健康寿命を延ばそう～人生の最後まで自分の足で歩こう ～」講師：徳本 峯行 氏 越谷中央公民館 参加者150名
	春日部市	【健康課】 ・生活習慣病予防教室(お手軽クラス)…ミニ講話と運動または調理実習 年6回 対象20歳から64 歳参加者数 119人 ・生活習慣病予防教室(ヨガクラス)…ミニ講話とヨガ 年6回 対象20歳から59歳 参加者数125 人 ・骨密度測定会…骨密度測定と栄養講義 対象20歳以上 年25回 参加者数1,306人 ・健康長寿サポーター養成講習…年7回 参加者数 141人 ・食育講座…栄養講義と調理実習 年2回 参加者数 28人 ・ウォーキング教室…年3回 参加者数 71人
	草加市	・糖尿病や高血圧・脂質異常症などの生活習慣病の予防や改善だけでなく、多くの人が健康を保 持し、おいしくバランスよく栄養が摂れ、献立を考える手間が省けるよう、「1週間バランスレ シピ集」を作成・配布した。(5,000部)
	越谷市	・食育の推進を図るために調理実習を行った。 男の料理教室12回、182人参加。ヘルシークッキング12回、256人参加。 ・食育講演会1回、263人参加。 ・市民健康教室8回、154人参加。 ・メタボリックシンドローム予防のための減量をサポートする講座を実施した。 チーム-3キロ35回、499人参加。 ・運動セミナー2回、48人参加。 ・運動習慣を身につける目的教室を実施した。 健康体操教室63回、2,532人参加。 ・食生活改善推進員による料理教室14回、204人参加。
八潮市	・年間10回の健康相談会、20-39歳向け健診の結果説明会、随時の健康相談において個人に合わせた 保健指導を実施した。 ・健康講座(運動、栄養、疾病予防)、料理教室等を実施し、食生活、運動などに関する知識の 普及や情報提供を行った。 ・月1回、健康づくりの料理教室にてバランスの良い食生活の講話と調理実習を行った。 ・地域住民の健康づくりを推進する「食生活改善推進会」の定例会(月1回)にて食生活の改善に 関する研修を計画的に行った。 ・健康づくりの一環としてウォーキング講座を実施した。3日間で延113名が参加した。 ・広報、ホームページ、チラシ、ポスター等による健康づくりに関する広報活動を実施した。 ・出前講座等で生活習慣病予防についての講話や「健康長寿サポーター養成講習」を実施した。 ・健康長寿サポーターあての通知に健康情報を掲載し情報提供を行った。 ・夏休み期間に「親子料理教室」を行った。	

① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・「すこやかみさと健康体操」の普及・実施 三郷市民の歌に振付を行い、市民の歌を歌いながらからだを温める体操を普及及び推進した。普及するために、普及員養成講座3回を2クール実施。町会や団体の要請を受けて普及員を派遣し体操の普及を行った。また、市民まつり等で発表し、市民へ広くPRを行った。 ・たばこの害を周知 8月のmisatostyle、11月の市民まつりにてパネル展示を行い、たばこの害について周知を行った。また、乳児健診会場に受動喫煙に関するパネルを展示した。 ・成人を対象に行った集団健康教育において、食生活や運動に関する正しい知識の普及啓発や情報提供を行った。延参加者数：2,216人 ・食生活や栄養でお困りのかたに、地域の各所で栄養士による栄養相談を行った。延実施者数：110人 ・三郷市体力向上推進委員会にて健康教育に関する充実した取組を推奨し、各校では「生活習慣アンケート」「健康チェックカード」「健康ちょきんカード」等の実態調査やセルフチェックを行う取組を行った。
	吉川市	保健センターに「食育コーナー」を設置。出前講座等により知識の普及を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（団体、サークル）、母子手帳交付時、健康相談、各種教室、特定健診来所者への教育、健康展を開催した。広報やホームページに掲載。運動サークルや糖尿病予防サークルメンバーの継続フォローを実施した。 ・食生活改善推進員と連携し、食に関する正しい知識の普及と生活習慣病予防を目的に団塊の世代を中心とした男の料理教室を実施した。 ・生活習慣病予防、介護予防として『気軽にノルディックウォーキング』を実施した。なお、運動前に保健師等による健康講座を実施し、健康に関する情報を発信しており、様々な情報について参加者からのクチコミ等により、広く町民に伝わるよう草の根的な活動をした。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導（延39人）、給食施設指導（延254施設）を実施した。 ・栄養関係団体職員への栄養・健康づくり等についての研修会・会議を開催した（年7回参加者228人） ・健康長寿サポーター養成講座（年6回 参加者202人）を実施した。 ・健康づくりに関するリーフレット等を来訪者等に配布した。 ・管内市栄養士へ効果的な健康長寿推進のための会議を開催した。（平成30年6月22日参加者5人） ・管内地域活動栄養士会の勉強会に出席。（年4回 出席者30人）
	春日部保健所	食育推進事業及び給食施設、栄養関係団体等の育成・指導を通じて、食生活改善や健康づくりの啓発普及と支援を実施。 「給食施設研修会」、「健康長寿サポーター養成講習」、「食と健康について」、「熱中症予防対策と健康づくりについて」、「カロリー計算講習会」等 （計30回延べ1578名）
② 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進	春日部市医師会	特定健診、特定保健指導を原則、同一の医療機関で実施することで、対象患者の病識の向上、実施率の向上に寄与した。
	越谷市医師会	当会では、医療機関で行う施設健診と公共施設を利用した集団健診を実施している。また、特定健診実施後の結果通知発送の際に、越谷市が作成した保健指導に係る資料を同封し、市民の健康に対する意識啓発に努めている。30年度実績は、施設健診・集団健診合計34,955人。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 6月～10月の20日間実施 2,676件 ・吉川市個別 16医療機関で実施 4,602件 ・松伏町集団 6月に11日間実施、11月に8日間実施 1,952件 ・松伏町個別 10医療機関で実施 467件
	草加八潮医師会	草加市、八潮市からの情報提供、健診事業、予防接種事業への協力を積極的に行った。
	三郷市医師会	集団・個別特定健診及び特定保健指導の実施。
	春日部厚生病院	かかりつけ患者及び家族に対して、年一回の健診啓蒙を行っている。 特定保健指導については、糖尿病専門医の助言を得ながら、管理栄養士が中心となって指導を行った。
	春日部市	<p>【国民健康保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診：平成30年6月1日～10月31日まで市内医療機関（66医療機関）で実施。受診率45.1%（令和元年7月25日現在暫定値） ・特定保健指導：動機付け支援は市内医療機関（特定健診を受診した医療機関）で実施。積極的支援は業者委託で実施。実施率7.0%（令和元年7月25日現在の暫定値）

	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・受診券を発送し、未受診者に対し、ハガキや通知、電話にて勧奨を行い、早期発見に努めた。また、リスクが高い受診者に対し保健指導を行い、早期治療を促進した。
② 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進	越谷市	<p>《特定健診の実施》</p> <p>【実施期間】6月1日から11月10日</p> <p>【個別健診】市内92医療機関で実施</p> <p>【集団検診】8月下旬から10月までの土曜日を含む40日間、市内公共施設で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全対象者へ受診券、受診案内、生活習慣病予防リーフレットを送付（58,185件） ・特定健診項目に血清クレアチニン、eGFR、貧血検査を受診者全員に追加、また、医師の判断により心電図、眼底検査（後期高齢者は除く）を実施。 ・特定健診結果通知に、健診項目の検査内容説明を情報提供。 <p>《受診促進》</p> <p>【広報活動】市ホームページ（期間中）、広報誌（6月号、8月号）、メール配信サービス（1回）、特定健診受診啓発ポスターを実施医療機関92箇所と自治会に配布、越谷商工会議所広報誌（8月号）・JA越谷市の広報誌（8月号）に受診促進記事掲載、自治会回覧板にて周知（市内全域）、健診受診啓発カード（名札貼付用）着用（8月から10月）</p> <p>【受診勧奨キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未受診者へ受診勧奨はがきを期間中に2回送付（1回目7月 57,307件、2回目9月 26,108件）、電話による受診勧奨（コールサービス）（40歳代・50歳代を中心とする800件） ・市民まつりで特定健診受診促進イベントを実施（血管年齢測定） ・東部地区保険者と合同でイオンモール春日部において、けんこう大使の着ぐるみを活用したPRイベントを実施（血管年齢測定設置） ・特定健診受診啓発うちわ（3,000枚）を作製。 ・特定健診受診啓発車両用マグネットシートを公用車に貼付 ・特定健診結果説明会の実施 <p>《特定保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果より特定保健指導対象者を抽出し保健指導を行い、保健指導未利用者に対しては、ハガキや電話による利用勧奨を行った。 ・健康増進法に基づく健康診査を実施し、対象者に保健指導を行った。 受診者数363人（受診率12.0%）。保健指導実施者数4人（実施率12.9%）。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月広報やしおに国保コーナーを設けて、特定健診・特定保健指導の受診（利用）勧奨や健康管理の重要性などの記事を掲載している。 ・市ホームページのトップページに、特定健診の受診勧奨に係るコンテンツを掲載した。 ・メール配信サービスで特定健診の受診勧奨や健診関係のPRイベントの開催等を周知した。 ・特定健診受診啓発ポスターを作成し、実施医療機関及び公共施設に掲示した。 ・市内の各種イベントや東部地区15市町と合同でPRイベントを実施した。 <p>●特定健診</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自己負担金のワンコイン（500円）化及び40歳の自己負担金無料化 ②受診期間中の電話勧奨の実施 ③未受診者へ再勧奨はがきの送付 ④農協での健診結果提供の依頼 ⑤各種イベント等での受診勧奨PR活動の実施 <p>●特定保健指導</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保健指導未利用者へは再募集を実施
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・母子愛育会へ受診勧奨（声かけ）及び市内掲示板への特定健診等周知ポスター掲示の業務委託。 ・レディースデイに託児を設け、子育て中の女性が受けやすい体制を整備した。 ・集団健診時に血管年齢測定を17回実施。 ・集団健診において食育事業とのコラボレーションを実施した。（食改への委託事業） ・健診結果から、集団健診においてHbA1c8.0%以上の未治療者を対象として、保健師が訪問指導を実施した。訪問数：19件 ・特定健診結果で高血圧や腎機能低下があるかたへ保健師が受診勧奨訪問を実施。 ・30代健診結果で特定保健指導基準に該当（年齢以外）するものについて、個人の特性に応じたパンフレットの同封と生活習慣改善に関するコメントを記載し送付した。 ・特定保健指導未申込者（集団健診受診者）に対し、保健師等が架電し積極的な利用を促した。 ・特定保健指導未申込者に対して、特定保健指導利用勧奨通知を送付した。 発送数：670件 ・特定健診未受診者（過去3年間受診歴有るもの）に対し、特定健診受診勧奨圧着ハガキを送付した。 発送数：4,509件
	吉川市	<p>アポなし訪問や休日、勤務時間外の面談の実施、健診当日の個別指導などの取組を実施。特定保健指導実施率60.9%（暫定値）を達成。</p>

② 特定健診や特定発見・早期治療による生活習慣病の促進	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に歯科保健に関する資料を同封し、歯周病予防の啓発を実施した。 ・受診者の都合に合わせて、集団健診、個別健診を実施した。集団健診では、保健師・栄養士による生活習慣病予防についての講話を実施した（町統計データ等）。 ・特定健診未受診者に対し、ハガキによる受診勧奨を実施した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導対象者に保健師・栄養士による保健指導を個別面接で実施した。個別面接ができなかった方には、電話または、資料を送付して、生活習慣病の予防啓発を実施した。 ・特定保健指導では、休日開催も取り入れ、より参加しやすい工夫した。 ・健診結果により、各種栄養教室を案内し、実施した。 ・健康展において、血流測定を実施し、健康診断受診の必要性、生活習慣の改善について助言している。
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代の健康づくりや特定健診受診率向上のための会議を開催した（平成31年2月13日 参加者11人） ・管内市へ特定健診等啓発用のぼり旗の貸し出しを行った。 ・効果的な特定指導を実施するための研修会を開催した。（平成30年11月28日 参加者32人） ・生活習慣病予防、受動喫煙対策等含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理責任者等へ行った。（延386人）
③ がん検診受診率の向上	春日部市医師会	平成29年度より開始された胃がん内視鏡検診について、市民に啓蒙、普及に努めるとともに、勉強会、研修会を開催することで読影技術の向上を図った。各種がん検診それぞれで対策委員会を開催することで、受診率の向上に努めた。
	越谷市医師会	年1回開催の「市民と医師のシンポジウム」では、がん予防・早期発見をテーマとして専門医による講演を実施した。30年度は、10/21（日）に「C型肝炎と肝臓がんの撲滅」を開催。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 5, 013件 ・吉川市個別 16医療機関で実施 6, 967件 ・松伏町集団 5, 971件 ・松伏町個別 10医療機関で実施 614件
	草加八潮医師会	がん予防に向け、草加市、八潮市と協力し、積極的な普及啓発に力を注いだ。
	三郷市医師会	集団・個別がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮）の実施。
	越谷市歯科医師会	口腔がん検診 平成24年5月1日より「口腔がん検診」が行われ、市民の関心は高く、重症化させないために普及啓発を行っています。
	草加市薬剤師会	「そうか みんなで健康づくり計画」に協力し、がん検診、指定医療機関等のパンフレットを薬局店頭で配布している。
	春日部厚生病院	特定健診時にオプション検査として肺がん・大腸がん・胃がん健診を一緒に勧めている。パンフレットの配布やポスター掲示にて健診の重要性をお知らせしている。
	春日部市	【健康課】 <ul style="list-style-type: none"> ・各がん検診について受診勧奨通知を送付 ・がん啓発イベントを実施
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳及び50歳になる人にがん検診等の個別勧奨通知を行った。（計7,943人） ・個別検診の定員を400人から600人に増やした。 ・乳がん検診の検診日の追加を行い、検診の機会を提供した。
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診の周知と受診率の向上を図るため、広報・ホームページ・Cityメールの掲載や、個別勧奨ハガキを通知した。 ・胃がん検診 受診者数13,803人（受診率6.9%）。 ・子宮頸がん検診 受診者数9,760人（受診率6.9%）。 ・乳がん検診 受診者数7,909人（受診率14.2%）。 ・大腸がん検診 受診者数20,894人（受診率10.4%）。 ・肺がん検診 受診者数23,968人（受診率11.9%）。 	
八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ①子宮頸・乳がん検診の無料クーポン券や受診勧奨通知の送付 ②胃・肺がん検診の受診勧奨通知の送付 ③保健センター事業や健康まつり、市民まつり等でのPR ④40歳到達者への各種受診券及び勧奨通知の送付 ⑤精検未受診者に対する精検受診勧奨通知の送付、受診勧奨電話及び精検結果の把握 	

③ がん検診受診率の向上	三郷市	・乳・子宮頸がん検診無料クーポン券対象者のうち、8月末時点で未受診のかたに対して圧着タイプの受診勧奨ハガキを送付した。発送数：乳がん検診 992件 子宮頸がん検診 599件 ・年度末時点で40歳の市民のうち、8月末時点で肺がん検診未受診者に対して圧着タイプの受診勧奨ハガキを送付した。発送数：2,002件
	吉川市	乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンを対象者に送付。広報・ポスター等によるがん検診の受診勧奨を実施。
	松伏町	・特定健診受診券送付時にがん検診受診勧奨を実施した。 ・集団健診時、がん検診も同時実施とし、受診しやすいよう、休日も受診可能とした。また、受診者の都合により、個別健診も可能とした。
	草加保健所	・健康長寿サポーター養成講習会を開催し、生活習慣病予防対策やがん検診の受診勧奨を行った。（年6回 参加者延540人） ・効果的に働く世代の健康づくりを実施するために管内市担当者を対象に健康課題対策会議を開催した。（平成31年2月13日 参加者11人）
④ 糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進	春日部市医師会	会員医療機関における市町村、協会けんぽの実施する重症化予防事業への参加、推進を積極的に呼びかけた。
	越谷市医師会	重症化予防事業を会員医療機関に周知し、積極的な事業参加を呼び掛けている。
	吉川松伏医師会	・市と町と連携し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、医療機関への受診勧奨の対象となった方々に対しての医療機関への協力周知を行い、糖尿病重症化リスクの高い方の人工透析への移行を防止するよう努めた。
	草加八潮医師会	国保（草加市、八潮市）や各種健康保険組合等で実施の特定健診事業に積極的に取り組み、必要に応じて講師派遣を行った。
	三郷市医師会	糖尿病週間と連動した、市民を対象とした啓発講座の実施。
	越谷市歯科医師会	糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン（日本歯周病学会）をもとに歯周病・糖尿病の関連・予防の大切さを「歯周病検診」において周知徹底しました。平成30年度より予防的見地から歯周病検診の対象年齢を35歳からとしました。
	春日部厚生病院	糖尿病専門医及びスタッフの中に糖尿病療養指導士の資格を有する者がおり、年3回以上、「糖尿病教室」を開催し運動や食生活の改善を指導している。
	埼玉県看護協会	平成30年11月29日（木） 19時～ 場所：春日部フラルールガーデン 春日部市医師会と共に春日部周辺地域の病院等を対象に多職種合同の糖尿病セミナーを開催
	春日部市	【国民健康保険課】 ・糖尿病性腎症重症化予防事業（受診勧奨、保健指導、継続支援）を実施。 ・受診勧奨：未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者265通、受診中断者42通。 ・保健指導：糖尿病性腎症2期～4期の者に専門職（保健師・管理栄養士等）による保健指導を実施。通知発送数587通、参加者数44人（参加率7.5%）、修了者数38人。 ・継続支援：保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。通知発送数66人、参加者数9人（参加率13.6%）、修了者数9人。
	草加市	・糖尿病のリスクがある未受診者や受診中断者に対して、個別に受診勧奨通知書を送付し、非専門職から再度の勧奨（電話）を実施した。また、健診値が悪い方等には専門職から強めの勧奨（電話）を実施した。 ・糖尿病の重症化リスクの高い人のうち、保護指導プログラムへの参加について、本人及びかかりつけ医の同意があった人を対象とし、保健指導を実施した。
越谷市	《生活習慣病重症化予防対策事業》 埼玉県と国保連合会の共同事業に参加。 ・医療機関未受診者への受診勧奨（200人） 受診中断者への受診勧奨（47人） ・保健指導（平成30年度 申込者数32人） ・糖尿病予防を目的に、ウォーキング教室や栄養講座を行った。全2回、63人参加。 ・糖尿病に関する栄養講座を行った。6回、85人参加。 ・【再掲】生活習慣病予防セミナー（糖尿病）を開催した。1回、80人参加。	
八潮市	埼玉県・埼玉県国民健康保険団体連合会との共同として「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。平成30年度は生活指導参加者5人への保健指導を実施した。	

④ 糖尿病の発症の推及及び重症化予防対策の発症の推及	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業への参加 ・保健師が随時、糖尿病の予防に関する相談及び指導を行った。延実施者数：訪問指導20人、電話相談1人。
	吉川市	特定保健指導を中心に糖尿病の発症及び重症化予防対策を推進。
	松伏町	・健診結果により、糖尿病の発症予防を踏まえた特定保健指導を実施した。また、健診結果から、糖尿病予防教室を案内し、実施した。
	草加保健所	・糖尿病の発症や重症化を予防するための専門研修会を開催した。（平成31年2月13日 参加者15人）
	春日部保健所	「保健指導実務者スキルアップ研修会～糖尿病性腎症の病態と対策～」を実施。（39名参加）

【3 心の健康対策】

【主な取組】＜実施主体：医師会、薬剤師会、病院、民生委員・児童委員協議会、市町、保健所＞

① 精神保健に係る関係機関との連携強化	越谷市 医師会	越谷市精神保健福祉専門相談事業や埼玉県福祉部嘱託医（更生相談）等に対し、順天堂大学医学部付属越谷病院や獨協医大埼玉医療センター専門医の推薦・派遣協力を行っている。
	草加八潮 医師会	草加市、八潮市と協力しながら、心に悩みを持つ方やその家族等に対して、精神科医による適切な相談や診断を行った。
	春日部市立 医療セン ター	・当院にかかりつけの患者に対して、状況に応じて近隣の精神科クリニック、保健所、認知症専門病院などへ紹介している。妊産婦のうつについては、地区担当の保健師と連携を図っている。
	春日部市民 生委員・児 童委員協議 会	平成30年11月26日「ゲートキーパー養成講習会」 内容 自殺のサインに気づき必要な支援へつなげる具体的な対応方法を学ぶ 民生委員の日々の活動（声かけ、傾聴、つなぐ、見守る）のなかで自殺のサインに気づくことは重要、その方法を知ってスキルアップにつなげる為に定例会議で参加を呼びかけた。
	春日部市	【健康課】地域支援生活センター主催の関係者連絡会に参加…参加機関：市保健福祉部門職員、月1回 【障がい者支援課】保健所、相談支援事業所、市の関係課が参加し、お互いの役割の確認や情報共有を行った。
	草加市	・高齢化、重複障害、子育てなど家族が抱える問題が多様化しており、世帯全体への支援が必要な事例が増加しているため、保健所、医療機関、相談支援事業所、包括支援センター、子育て支援センター、訪問看護事業所等と連携し、情報共有のほか役割分担、方針の統一を図った。
	越谷市	・事例検討会 関係機関と随時ケース検討を実施し、必要に応じて同行訪問等を行った。 関係機関 庁内：生活福祉課・障害福祉課・地域包括総合支援センター、教育センター等 庁外：地域包括支援センター、精神科医療機関、警察、児童相談所等 ・自殺対策 消防本部救急課、救急医療機関（当面は3次救急医療機関、以下「救急医療機関」）と連携し、自殺未遂者相談支援事業を実施した。入院中の自殺未遂者のうち本人又は家族の同意が得られた者に対し、訪問によるフォローを行い、再企図の防止を図った。 平成30年度は18人に対し訪問を行った。
	八潮市	・随時、保健所や医療機関、相談支援事業所等と連携を図った。
	三郷市	・三郷市自殺対策計画策定部会、三郷市自殺対策計画策定懇話会を設置し、三郷市自殺対策計画を策定した。 ・医療機関、地域事業所も含めた事例検討の場への参加 ・精神障害をテーマにした講演会等の普及・啓発への協力
	吉川市	精神障がい者家族会への補助金支出など支援を実施。
	松伏町	・随時保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携した。 ・年3回、関係機関と精神連携ケース会議を実施した。
	草加 保健所	・保健所管内連絡会議（地域移行・地域定着支援事業研修含む）（年3回実施） ・医療ケア観察法ケア会議（計11回出席） ・管内4市の会議に出席 草加市：障害者自立支援協議会精神部会・地域包括ケアブロック会議・地域包括ケア会議等（計7回出席） 八潮市：精神保健福祉ネットワーク会議・地域包括支援センター協議会・自立支援協議会等（計9回出席） 三郷市：地域自立支援協議会・障がい福祉地域支援会議・地域精神保健福祉ネット・障がい者地域生活支援協議会等（計7回出席） 吉川市：障害者自立支援協議会相談支援部会・地域福祉策定委員会等（計6回出席）
	春日部 保健所	管内の保健・医療・福祉関係機関の職員を対象に、関係機関との連携強化、情報共有を連携を強化することを目的に事業を実施。 ・精神保健連絡調整会議（6月、11月、1月、3月） ・越谷市保健所との精神保健業務連絡会議（5月、2月）

② 精神保健に係る情報提供や相談体制の充実	草加八潮医師会	草加市、八潮市が実施する「こころの健康相談」に精神科医の派遣など、協力しながら事業を進めた。
	草加市薬剤師会	「まちの健康づくり相談所」を草加市と協力して設置して、処方せんなしでも立ち寄ることができる、市民との相談体制づくりを行っている。
	春日部市立医療センター	・相談支援室には精神保健福祉士が3名おり、精神科医師と公認心理師の連携を取りながら相談支援を行っている。精神疾患の方の相談件数271件。 ・地域医療連携室では近隣の精神科医療機関の情報をまとめており、患者へ速やかに情報提供を行っている。
	春日部市	【健康課】 ・ゲートキーパー養成講習会…対象：民生委員、実施日：11月26日、参加者：59人 ・ゲートキーパー養成講習会…対象：民生委員、実施日：3月12日、参加者：20人 ・精神保健福祉連絡会（研修）…対象：市職員（保健福祉部門）、実施日：1月24日、参加者：13人 ・精神保健福祉連絡会（研修）…対象：市職員、実施日：2月7日、参加者：80人 ・メンタルヘルス講演会…対象：市民 実施日：12月8日、参加者：57人 ・こころの健康相談…毎月3回実施、精神保健福祉士・臨床心理士・保健師による相談、年67件 ・新成人向けのリーフレット配布…成人式にてリーフレット配布、1,850部 ・こころの体温計…メンタルヘルスチェックシステム 通年 アクセス数：23,821件
	草加市	・援護の案内を改定した。また、統合失調症の家族を対象に地域活動支援センターと共催で「家族教室」を実施した。
	越谷市	・精神保健支援室の案内用リーフレットを作成し、病院や庁内他課に配架した。 ・困難事例への取り組み 困難事例について、専門家によるスーパーバイズを受け、心の健康に関わる関係者のスキルアップを図り、相談体制の充実を図った。 事業実施件数 医師による専門相談 6回 訪問5件 ケースレビュー4件 臨床心理士による専門相談 6回 検討事例8件 ・自殺対策に関わる相談体制の整備 救急医療機関に搬送されたあるいは不搬送だった自殺未遂者及び家族に対し、迅速且つ専門的な対応をするため非常勤の臨床心理士を雇用した。 消防本部救急課及び救急医療機関と随時情報交換を行った。 また、相談者に対し定期的な（原則として6ヶ月に1回）電話、手紙、面接によるフォローを行った。
	八潮市	①広報・HPでの知識、情報提供 ②毎月1回、精神科医による相談の実施 ③随時、保健師、精神保健福祉士による相談の実施 ④市内相談先一覧を作成し、窓口にて配布
	三郷市	・精神保健に係る相談体制の充実を図るため、パンフレットを作成し、来訪者などに配布している。 ・市民への出前講座に「こころの健康づくり～ゲートキーパー養成講座～」を追加し、市民団体やグループを対象に健康講座を実施している。 ・ガイドブックを作成し、地域に向けた精神障害の理解促進
	吉川市	草加保健所管内精神障害者地域支援体制構築会議へ出席。
	松伏町	・随時保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、相談者へ必要な情報について提供した。 ・「ストレスと上手に向き合うために」と題し講演会を実施した。 ・健康展では、こころの健康についてのチラシを配布し、啓発に努めた。
草加保健所	・こころの健康相談（精神科医による相談）（相談者実数：10人） ・ひきこもり対策事業：ひきこもり専門相談（臨床心理士による相談）（相談延数24人） ひきこもり家族教室（年1回実施：15人参加） ・保健所職員による相談：訪問584件・面接618件・電話等3728件、合計4930件 ・地域精神保健福祉セミナー（年3回実施、合計31人参加）	
春日部保健所	精神保健に係る相談体制を充実させるため、研修会を開催、また、リーフレットを作成し、関係機関に配布した。 ・精神保健福祉研修会の開催（1月18日 参加者44人）	

③ 退院後の地域支援体制の充実強化	草加八潮 医師会	相談者の状況に応じて、要医療、生活指導、状況観察など必要な助言等を行った。
	三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる退院後の往診等のサポート。
	春日部市立 医療センター	・一般病棟に入院中の精神疾患がある方が退院する場合、その患者の病状、症状に合わせて関係機関と連携を取り支援している。
	草加市	・退院前から医療機関を訪問し、本人を含め支援体制について関係機関と検討し、地域で安定した生活を送れるよう、サービス調整を行った。
	越谷市	・措置入院解除前又は後に全員を病院に訪ね、本人、家族、病院関係者、必要に応じて訪問看護事業者を交え、今後の療養生活について相談に応じている。また、退院後も必要時適宜訪問・面接を実施し、フォローしている。
	八潮市	・基幹相談支援センターを中心に、相談支援事業所や医療機関等と連携を図り、退院後の支援体制について調整を行った。
	三郷市	・相談支援事業所と連携し、入院中より障害福祉サービス等の制度利用について説明を行い、再入院防止に向けた支援体制を整えた
	吉川市	必要に応じて病院や地域移行支援事業者などと個別会議を実施。
	松伏町	・必要時、退院時カンファレンスに保健師が参加し、退院後の訪問や面接で継続受診等を支援した。
	草加 保健所	・精神障害者地域支援体制構築会議（年1回実施） ・地域移行支援交流会（年1回実施：32人参加）
春日部 保健所	措置入院者の社会復帰の推進を図ることを目的とする措置入院者退院後支援事業の一環として、会議を開催し、関係機関との連携、情報共有を図った。 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の開催（9月28日 参加者19人） ・精神障害者支援地域協議会（調整会議）の開催（4回）	

【4 健康危機管理体制の整備充実】

【主な取組】＜実施主体：医師会、薬剤師会、病院、市、保健所＞

① 地域における健康危機管理体制の充実強化	草加八潮医師会	草加市、八潮市それぞれ地域防災計画を策定済（策定中）であり、防災会議等に医師会として委員を派遣、大規模災害（地震、風水害）への対応を想定した意見交換や訓練にも積極的に参加した。
	春日部市立医療センター	・医療法人社団 嬉泉会 春日部嬉泉病院との地域連携合同カンファレンス（4回）を実施した。平成30年6月27日、9月26日、11月28日、平成31年2月27日。 ・独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院との地域連携合同カンファレンス（2回）を実施した。平成30年7月25日、12月12日。
	春日部市	【健康課】 ・災害時医療について春日部市医師会他関係機関との打合せ・・・7回 ・災害時用医薬品等備蓄業務委託の開始・・・備蓄箇所数市内15か所
	越谷市	・保健所における健康危機管理体制の充実に向けて、保健所健康危機管理マニュアルを整備した。
	八潮市	・SYMAT（草加八潮災害医療チーム）防災会議に出席し、情報共有を図った。 ・草加保健所地域災害保健医療調整会議に出席し、保健所や近隣市と情報共有を図った。
	三郷市	・防災医療対策協議会を開催し、防災医療体制について協議を行った。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、三郷市危機管理防災課、三郷市健康推進課、三郷市消防本部、三郷市消防署 開催日：平成30年5月29日、7月31日、9月25日、11月27日、平成31年3月26日
	草加保健所	・草加保健所健康危機管理マニュアルを作成し所内に配布した。 （作成日：平成30年4月1日） ・草加保健所地域災害保健医療調整会議を設置して会議を開催した。 （開催日：平成31年3月12日、12名出席）
	春日部保健所	・健康危害発生時における緊急対応マニュアルを作成し所内に配布した。 （作成日：平成30年4月1日） ・春日部保健所管内地域災害保健医療調整会議を開催した。 （開催日：平成31年3月19日、12名出席）
② 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組	春日部市医師会	行政、警察、消防、歯科、薬剤師、接骨、鍼灸マッサージ等の関係機関と会合を重ね、大規模災害発生時の初動48時間、72時間の対応についてマニュアルの作成、救護所5カ所の設置等を決定した。さらに、春日部市防災訓練において、3回目のトリアージ訓練を実施した。
	越谷市医師会	越谷市災害対策マニュアルに基づいた有事の際の医療提供のあり方について継続的に検討している。市設置の医療救護所への医療班派遣準備の体制構築を図っている。また、医療救護活動に必要なトリアージに関するスキルアップ研修を会員医師のみならず、市保健師や医療機関勤務看護師、薬剤師会にも受講対象を拡げ災害医療への理解と医療班への参加協力に対する意識啓発に取り組んでいる。他地域への応援要請に応えるべく、Jmat活動にも取り組みを強化した。
	吉川松伏医師会	・当医師会の災害医療委員会を開催し、災害時の医療救護体制の現状（平日・夜間・休日等）、災害時の医療救護体制の構築、医薬品等の物資の確保策、災害時連絡システム、今後の医療救護体制に向けて（行政合同会議の開催など）、検討した。
	草加八潮医師会	本医師会の独自組織として草加八潮災害医療チーム（SYMAT）を編成し、草加市、八潮市が実施する訓練に参加、避難所における救護所訓練を実施した。
	三郷市医師会	防災医療対策協議会の一員として大規模災害時に備えた防災医療体制の充実化を図り、トリアージ訓練や化学災害対策訓練を実施
	草加市薬剤師会	11月18日（日）、高砂小学校において、草加八潮医師会の先生を中心に、三師会合同の医療チーム（SYMAT）を立ち上げ防災訓練を行った。
	春日部市立医療センター	事故や災害時の患者受入れを想定した「多数傷病者搬送訓練」を行った。 平成30年11月20日。
	春日部厚生病院	医療連携協定を春日部市立医療センターと締結、救急搬送協定は春日部中央総合病院と締結している。また、職員との連絡方法の確保として、緊急メール配信システムを導入し、安否確認や出勤可否の状況確認が出来るようになっている。
春日部市	【健康課】 5師会等との連携により、大規模災害発生を想定した医療救護訓練の実施・・・平成30年11月18日（日）春日部市立武里南小学校、286人参加。	

② 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷市医師会との災害時における医療救護活動に関する協定に基づき、医療救護活動に対する協力を確認した。 ・迅速な医療救護活動を実施するため、市防災訓練にて越谷市医師会協力によるトリアージ訓練を実施した。 ・市内医療機関を対象とし、健康危機管理研修会を開催した。 災害時における被害・支援体制・情報連携に関する講義。 災害発生時を想定した演習訓練を実施。 (参加医療機関：24施設(参加者：30名))
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・SYMAT(草加八潮災害医療チーム)防災会議に出席し、情報共有を図った。 ・庁内における医療提供体制の共通認識を図るため「八潮市災害対策本部医療対策班検討会議」を開催した。 ・令和元年度八潮市総合防災訓練へのSYMAT参加に向けた検討を行った。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会へ三郷市総合防災訓練への参加を依頼し、訓練内容について協議を行った。 ※三郷市総合防災訓練は台風接近により中止
	吉川市	吉川松伏医師会が主体となり市と連携して災害時におけるトリアージ訓練を実施。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・草加保健所地域災害保健医療調整会議を設置して会議を開催した。 (開催日：平成31年3月12日、12名出席)
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・春日部保健所管内地域災害保健医療調整会議を開催した。 (開催日：平成31年3月19日、12名出席)
③ 感染症対策の強化	春日部市医師会	麻しんについて、保健所の指導に基づく、会員医療機関への注意喚起、対応方法の伝達。風しんについて、追加的対策も含めた抗体検査の実施など会員医療機関の積極的な参加を奨励した。
	吉川松伏医師会	・保健所と連携し、麻しん患者等の発生や発生増加の注意喚起や予防の周知を医療機関へ周知した。
	草加八潮医師会	国、県から情報提供を受け、会員への周知・啓発を積極的に行った。
	春日部市立医療センター	・新型インフルエンザ患者搬送訓練を春日部保健所と合同で行った。 平成30年11月30日。
	春日部厚生病院	感染対策委員会を設置し、院内及び地域で発生している感染症の把握を院内全体で取り組んでいる。感染対策マニュアルを各科に配布、スタンダードプリコーションを基本に取組を行っている。
	春日部市	【健康課】 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき備蓄品を購入・消毒用エタノール320ℓ、感染症防護対策キット115セット ・新型インフルエンザ等新興感染症の感染防止研修会への参加・22人
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加し、庁内関係部署及び草加八潮医師会と連絡訓練を実施した。 ・草加保健所管内新型インフルエンザ等対策訓練に参加し、連絡訓練を実施した。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等の発生に備え、訓練を実施した。 対策本部設置訓練、感染症患者搬送訓練、感染症防護具着脱訓練等を実施。 ・市役所職員を対象とし、感染症患者対応訓練を実施した。 エボラ出血熱疑い患者発生時の対応について、講義と防護服着脱訓練を実施。 (参加者45人)
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県連携による新型インフルエンザ等対策訓練(連絡訓練)を実施した。 ・職員による感染症防護服の着脱訓練を実施した。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等についての職員研修会を実施した。 ・三郷市新型インフルエンザ等対応マニュアルの見直しを実施した。
吉川市	緊急風しん対策のため、年度内に対象者にクーポンを発送。	

③ 感染症対策の強化	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度感染症発生状況：3類17件、4類11件、5類84件（2類：結核を除く） 平成30年結核新登録患者数：99人 新型インフルエンザ等入院医療機関：6医療機関 新型インフルエンザ等草加保健所管内地域別対策会議（平成31年3月14日、51人参加） 「新型インフルエンザ等草加保健所管内地域別対策会議」に係る実務担当者連絡会（平成31年1月31日、28人参加） 埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練及び草加保健所管内新型インフルエンザ等地域別対策会議委員による対策訓練（平成30年11月9日） 埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練及び草加保健所新型インフルエンザ等対策訓練（平成30年11月13日） 草加保健所管内医療機関感染症担当者連絡会議（平成30年11月6日、平成31年3月5日、各日13人参加） 草加保健所・市感染症対策担当者連絡会議（平成30年9月5日、10人参加）
	春日部保健所	新興・再興感染症の発生対応訓練等（感染症防止対策講演会、市町新型インフルエンザ対策取組報告会、患者搬送訓練、防護服着脱訓練、政府の訓練に合わせた新型インフルエンザ情報伝達訓練）を実施
④ 食の安全・安心確保	草加八潮医師会	国、県から情報提供を受け、会員への周知・啓発を積極的に行った。
	春日部厚生病院	大規模災害が起こった際、入院患者が中心となるが、医療備品の確保及び食料・飲料水三日分の確保を行っている。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> 食品営業施設等の立入検査及び食品の製造・販売施設の監視を実施した。（1,915施設） 市内で製造・販売される食品等について法等に基づき食品収去等検査を実施した。（206検体、4,978項目数） 食品関係業者等への衛生教育を実施した。食品業者や市民等に対して、食中毒予防のための講習会や、キャンペーンを通じて、正しい食品衛生知識の普及啓発を実施。（衛生講習会実施数15回、参加者数790名、こしがや産業フェスタにおける手洗い体験会）
	吉川市	コバトン食の安心情報（埼玉県発行）を保健センターに掲示。
	草加保健所	HACCP導入の普及・啓発：①営業許可更新時の周知382施設 ②食品衛生責任者に対する実務講習会2回（304人参加） ③HACCP導入相談会への職員の派遣2回 施設に対する重点的・専門的な監視指導：①生の野菜等を加工提供する施設の監視：42施設 ②生食用食肉提供施設の監視：64施設 食の安心・安全についての情報提供：衛生教育の実施75回
春日部保健所	食品等事業者によるHACCP導入支援のための衛生講習会を23回実施し、事業者523名が参加した。食中毒防止対策の最重点監視項目として生の野菜・果物を加工・提供する施設等449施設に監視指導を実施した。	

【5 在宅医療の推進】

【主な取組】＜実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、看護協会、市町、保健所＞

① 在宅医療・介護の連携の推進	春日部市医師会	医師会長が会長として春日部市在宅サービス多職種連絡協議会を定期的を開催することで、医師会、行政、歯科、薬剤師、接骨、看護師、ケアマネージャー等、文字通り多職種のメンバーが集まり、意見交換、情報交換を行っている。
	越谷市医師会	「地域包括ケア推進のための在宅医療提供体制充実支援事業」8つのうち、「関係市区町村の連携」以外の7つの項目を実施している。また、越谷市ケース検討会議参加医師のコーディネーターを行うなど、多職種連携推進のハブの役割を担う組織として連携推進の構築に腐心する毎日である。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往診医の紹介など在宅医療に関わる相談業務を行った。 ・ 在宅療養支援ベッドの確保、調整を行った。 ・ 市町が開催する多職種連携の会に定期的に参加した。 ・ 「医療機関連絡窓口の情報一覧」を作成・更新した。 ・ ホスピタリティマナー講座、在宅療養に関する研修を開催した。 ・ 市町が実施する介護施設等の医療対応についての情報公開に向けた準備を行った。
	草加八潮医師会	本医師会に在宅医療委員会を組織し、会員間の意思疎通や連携を図るとともに、草加市、八潮市との各種事業実施への協力を行った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる医療・介護連携の推進。
	越谷市歯科医師会	「越谷市地区在宅歯科医療推進窓口」「越谷市医療と介護の連携の会」と連携し、情報を共有し歯科医療従事者に周知しました。
	草加市薬剤師会	「医療と介護の会」、「シルクアール（SYRC-R）の会」に参加して、顔の見える関係を推進した。
	春日部市立医療センター	・ 医療処置がある方やがんの方に対し、在宅療養を安心して出来るよう、入院・外来問わず必要な時に速やかに関係機関と連携が取れるような環境を整備している。
	春日部厚生病院	在宅療養支援病院として、診療所の後方支援及び入院受入れを行っている。また、医師会から受託している春日部市在宅医療提供体制充実支援事業に参加。在宅療養支援ベッドの活用をお願いしている。介護施設との連携では、リハビリ専門職を派遣し在宅でできるリハビリやエクササイズを教えている。
	春日部市	【介護保険課】 医療・介護関係者を対象に「春日部市医療介護職連携研修・交流会」を開催した。 実施日（参加者数）：5月23日（299人）、11月21日（288人）
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護多職種協働研修会（医療・介護従事者向け）を4回実施した。（6/13：138名、10/31：57名、11/20：83名、3/26：92名） ・ 在宅療養虎の巻講座（住民向け）を3回実施した。（7/7：444名、11/23：194名、2/5：45名）
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度の介護保険法改正により、在宅医療・介護連携推進事業は市町村が主体的に取り組む事業として位置付けられ、本市では平成30年度から国が定める8つの事業（下記ア～ク）全てを所管し実施した。 （ア）地域の医療・介護の資源の把握 （イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 （ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 （エ）医療・介護関係者の情報共有の支援 （オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援 （カ）医療・介護関係者の研修 （キ）地域住民への普及啓発 （ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護連携に向けた現状把握や課題抽出のため、医療・介護等の関係機関を構成員とする在宅医療・介護連携推進会議を3回開催した。 （第1回 実施日：6月22日、参加者15名） （第2回 実施日：9月28日、参加者14名） （第3回 実施日：3月22日、参加者16名）
	三郷市	・ 三郷市在宅医療介護連携推進協議会、南部検討部会、北部検討部会にて、「訪問リハビリテーションにおける事業所の医師にかかる取扱い」、「三郷市退院調整ルール」を作成。
吉川市	吉川松伏多職種連携の会を6回開催し、医療従事者や介護従事者向けの研修会等を実施。	

① 在宅医療・介護の連携の推進	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度から医療介護資源情報提供システムの開発・運用を実施した。 在宅医療連携拠点において、療養支援ベッドの確保・往診医及び患者登録を継続的に実施した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。(開催日:平成30年8月20日、16名出席) メディカルケアステーション(MCS)の利用状況等に関するアンケートを実施した。(実施期間:平成30年11月下旬から12月中旬、対象192か所回収111か所(57.8%)) 草加保健所管内専門職向け在宅医療研修会を実施した。(開催日:平成31年2月27日、39名参加) 草加保健所管内在宅医療サポートセンター連絡会を設置し会議を開催した。(開催日:平成30年7月2日、16名参加)
② 在宅医療連携拠点の充実	春日部市医師会	行政の理解のもと、春日部市地域包括ケアシステム推進センターを立上げ、選任スタッフがコンピュータシステムによる医師、患者の登録、紹介等に医師会として積極的に寄与している。
	越谷市医師会	「医療・介護の連携拠点運営委員会」を開催中。拠点運営に係る協議を行っている。出席者は、越谷市役所、越谷市医師会在宅医療担当役員および医師、拠点職員。また、越谷市地域包括ケア推進課との毎月の会合実施。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度より市町の受託事業により、平日9時～17時、コーディネーター(看護師、介護支援専門員)、2名体制で運営している。 在宅医療、介護連携に関わる相談業務・往診、訪問診療医、患者登録支援業務・在宅療養支援ベッド確保業務・在宅療養に関わる普及啓発業務・多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種の連携につながる研修の開催などを行った。
	草加八潮医師会	草加市、八潮市からの委託事業である「在宅医療サポートセンター」事業を運営し、市民からの医療に関しての各種相談、地域包括支援センターをはじめとした介護関連事業所との調整を行った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる後方支援ベッド体制等の充実化。
	越谷市歯科医師会	「越谷市地区在宅歯科医療推進窓口」「越谷市医療と介護の連携の会」地域包括支援センターと連携を図り情報を共有しています。
	春日部市立医療センター	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)の委員やサポーターとして春進センター主催の研修会の企画・運営に参加している。
	春日部厚生病院	法人内に春日部市地域包括ケアシステム推進センターを設置。在宅医療や介護関係職種との連携推進を行っている。 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)の事務局を担い、会議開催の支援及び多職種が参画する研修会の開催案内を行っている。
	春日部市	【介護保険課】 春日部市地域包括ケアシステム推進センターにて、医療・介護関係者、地域包括支援センター等への相談支援及び情報提供を実施した。 (相談件数:40件)
	草加市	草加八潮医師会に委託し、「在宅医療サポートセンター」を在宅医療連携拠点として設置した。
	越谷市	上記(ア)～(キ)の事業を越谷市医師会に委託しており、医師会内に設置された「越谷市医療と介護の連携窓口」が在宅医療連携拠点として事業を実施した。
	八潮市	在宅医療サポートセンターを相談窓口として、本人、家族、地域包括支援センターやケアマネジャー等からの医療相談に対応するとともに、在宅医療を希望する患者を随時、往診医につないだ。
	三郷市	三郷市在宅医療介護連携サポートセンターを三郷市医師会に委託。
吉川市	平成30年4月から吉川松伏住宅医療サポートセンターを吉川松伏医師会への委託により設置。	
松伏町	在宅医療連携拠点「吉川松伏在宅医療サポートセンター」の運営を地域支援事業として平成30年度から医師会に業務委託を実施した。	

② 拠点の充実 在宅医療連携	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。(開催日:平成30年8月20日、16名出席) ・メディカルケアステーション(MCS)の利用状況等に関するアンケートを実施した。(実施期間:平成30年11月下旬から12月中旬、対象192か所回収111か所(57.8%)) ・草加保健所管内専門職向け在宅医療研修会を実施した。(開催日:平成31年2月27日、39名参加) ・草加保健所管内在宅医療サポートセンター連絡会を設置し会議を開催した。(開催日:平成30年7月2日、16名参加)
③ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援	春日部市医師会	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会による、毎回300~400名が参加する次回で10回目の春日部市医療介護職連携研修・交流会における、講師の決定、派遣、講演終了後のグループディスカッションに会員医師の積極的な参加を促している。
	越谷市医師会	医療連携に係る窓口相談受付業務。多職種からの相談内容をまとめた「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行し関係機関・団体へ配布。地域が抱える課題解決のため情報を共有している。ホームページ運営を始めたり、MCS積極活用の推進活動も行っている。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、介護従事者より電話、FAX等にて相談を受けている。平成30年度の相談件数は、173件であった。 ・医療、介護などに関わる情報提供はケアマネ会などにて配布、郵送、FAX、市町で管理している情報公開システムに掲載した。 ・市町が開催する多職種連携の会に定期的に参加した。
	草加八潮医師会	埼玉県、草加市、八潮市、各団体等実施する講演会や研修会、会議等に積極的に参加、出席することで、情報共有、相談体制の充実に努めた。 ※範囲を広げれば広げるほど業務が多忙になるという現実もあり、悩みを抱えている。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる多職種連携に主眼を置いた研修会等の定期的な開催による支援体制の強化。
	越谷市 歯科医師会	医療・介護・地域包括支援センターとの交流会を行い、情報を共有しています。
	草加市 薬剤師会	「草加市在宅医療・介護連携ガイドブック」の作成に協力して、情報の共有を推進した。
	春日部市立 医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護関係者と情報共有を行った。 訪問診療124件、訪問看護316件、在宅医療・療養に関すること460件
	春日部 厚生病院	協力医療機関になっている介護施設には多職種で勉強会や事例検討会を実施し状況の共有や顔の見える連携を図っている。
	春日部市	【介護保険課】地域の医療・介護関係者が参画する「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」を開催した。実施日(出席者数):4月17日(23人)、5月30日(22人)、6月27日(24人)、7月30日(24人)、9月14日(21人)、11月6日(21人)、1月21日(20人)、2月25日(20人)、3月25日(20人)
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が情報共有するための広報誌「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行した。 ・ICTによる情報共有ツールであるMCS(メディカル・ケア・ステーション)の利用促進を図るため、MCS事例検討会及び操作説明会を開催した。(実施日:6月11日、参加者40名) ・越谷市医療と介護の連携窓口が医療・介護関係者からの相談窓口となり、電話・メール等の相談を250件受け付けた。
	八潮市	医療・介護関係者の情報共有を図るため、在宅医療サポートセンターをICT活用の相談窓口として、ICTに関する相談対応や登録作業、研修会等による普及啓発活動を実施した。(実施日:8月31日、参加者26名)
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の認定申請窓口にて、三郷市在宅医療介護連携サポートセンターの案内チラシを配布。 ・看取りに関する市民講演会を開催。 ・MCSの積極的な活用を促進するために、連携拠点による事業所へ活用状況のアンケート調査を実施。個別に活用方法を説明。
吉川市	平成30年9月から「医療・介護情報提供システム」を公開し、情報共有体制を整備。	
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から医療介護関係者と行政が情報共有するためのシステムを開発・運用を実施した。 ・埼玉県医師会が開発した医療介護専門SNSの普及啓発に努めた。 ・平成30年度から医療介護資源情報提供システムの開発・運用を実施した。(再掲) 	

	<p>草加保健所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。(開催日:平成30年8月20日、16名出席) ・メディカルケアステーション(MCS)の利用状況等に関するアンケートを実施した。(実施期間:平成30年11月下旬から12月中旬、対象192か所回収111か所(57.8%)) ・草加保健所管内専門職向け在宅医療研修会を実施した。(開催日:平成31年2月27日、39名参加) ・草加保健所管内在宅医療サポートセンター連絡会を設置し会議を開催した。(開催日:平成30年7月2日、16名参加)
	<p>春日部市医師会</p> <p>医師会として、春日部市在宅サービス多職種連絡協議会に8~9名の会員が出席し、様々な検討事項をそれぞれの代表者と討議することで関係機関との連携を図っている。</p>
	<p>越谷市医師会</p> <p>越谷市内医療機関へ向け、各関係機関との情報共有について状況調査を行った。越谷市内訪問看護ステーション、ケアマネージャーへ向けアンケートも実施。集計結果を分析し、委員会等協議内容への参考としたり、市内病院への出張講座実施時の発表資料にも活用している。また、「医療と介護連携の会・世話人会」を2か月に1回開催。越谷市における多職種各団体代表者が一堂に会し、地域包括ケア推進のための意見交換や体制の構築に深く関与した協議会となっている。県内の横断的な繋がりを目的にMCSで県内拠点グループを作った。</p>
	<p>吉川松伏医師会</p> <p>・市町が開催する多職種連携の会に定期的に参加した。</p>
	<p>草加八潮医師会</p> <p>埼玉県、草加市、八潮市、各団体との横断的なつながりは大切なことであり、お互いの『顔の見える関係』を構築、維持していくことが重要と考える。</p>
	<p>三郷市医師会</p> <p>在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関との調。</p>
	<p>越谷市歯科医師会</p> <p>平成23年度から行われている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとの交流会の実施 ・見守りチェックシートの作成・活用 ・歯科医師会・地域包括支援センターとの連携シートの活用
④	<p>春日部市立医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日部市地域包括ケアシステム推進センター主催の研修会・交流会に2回参加した。 ①第7回春日部市医療介護職連携研修・交流会 開催 (平成30年5月23日) テーマ「医療介護職の連携について~春日部市の取り組みを考えよう~」 参加者 約200名 ②第8回春日部市医療介護職連携研修・交流会 開催 (平成30年11月21日) テーマ「入院医療からシームレスな在宅医療介護へ~春日部市の取り組みを考えよう~」 参加者 約200名 ・地域の在宅医療介護の支援者を対象とした当院主催による研修会を3回実施し、連携を図っている。 ①「認知症のため特別養護老人ホームに入所し、外来放射線治療を施行した患者へのかかわり」 (平成30年6月28日) 参加者55名 ②「家族が重要な役割を果たし、入退院を繰り返している肺がん患者のケア」 (平成30年10月25日) 参加者78名 ③地域ケアミーティング 「家族の絆を築けた食道がん終末期患者」 (平成31年2月28日) 参加者81名
	<p>埼玉県看護協会</p> <p>平成30年4月20日(金)19時~ 春日部市医師会主催の交流会 春日部市医師会長 副会長 埼玉県看護協会会長 第8支部支部長 近隣病院看護部長 参加者13名 平成30年9月8日(土)第9支部において 交流会「病院と在宅の協働~お互いの役割を理解する~」を開催 越谷中央公民館 参加者21名 平成30年10月16日(火)19時~ 春日部市医師会主催の交流会 春日部市医師会長 副会長 埼玉県看護協会会長 第8支部支部長 近隣病院看護部長 参加者15名</p>
	<p>春日部市</p> <p>【介護保険課】 介護関係者を対象に「春日部市介護事業部門連携研修・交流会」(全体・部門別)を開催した。 実施日(参加者数):【全体】9月19日(87人)、【居宅部門】1月16日(67人)、【通所部門】1月23日(21人)、【訪問部門】2月8日(14人)、【施設部門】2月12日(18人)、【訪問看護部門】3月13日(13人)</p>

④ 関係機 関の 連携 の 推 進	草加市	・草加市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、3回開催を行った。(6/28、10/25、2/7)
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者、介護関係者、学識経験者等16名で構成された「越谷市地域包括ケア推進協議会」を4回開催し、自立支援型地域ケア会議や、認知症施策の推進等について審議した。(実施日：8月2日、10月24日、1月25日、3月13日) ・多職種が参加する研修会を13回開催し、延べ923人が参加した。 <p>5月25日 138人 地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会 6月11日 40人 M C S 事例検討会及び操作説明会 6月28日 40人 実践課程を可視化できる生活支援記録法 7月9日 40人 医療的視点を補う為の疾患の理解とチェックポイント 7月19日 70人 第21回医療と介護連携の会「体験しよう介護予防」 9月14日 60人 第22回医療と介護連携の会「こんなときどうするオムツに詳しくなろう」 9月21日 167人 第23回医療と介護連携の会～大交流会～ 10月15日 40人 医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント「高齢者の糖尿病について」 11月16日 105人 第24回医療と介護連携の会～ポリファーマシーについて～ 11月30日 40人 医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント～心不全について～ 12月21日 76人 認知症ケアに携わる多職種協働研修 2月22日 69人 第25回医療と介護連携の会～精神障害を持つ患者と家族の在宅医療支援～ 3月8日 38人 第26回医療介護連携の会「在宅や施設で役立つ糖尿病患者の看護」</p>
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に作成した事業者向けの医療・介護資源リストを更新し、市内の医療機関、介護サービス事業所等に配布した。 ・地域の医療・介護関係者の連携を図るため、研修会を開催した。(実施日：11月9日、参加者64名)
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携推進協議会、南部検討部会、北部検討部会をそれぞれ年3回開催。 ・ワールドカフェ形式の多職種研修会を3回開催。
	吉川市	吉川松伏多職種連携の会を6回開催し、医療従事者や介護従事者向けの研修会等を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会と行政が中心となって組織する「多職種連携の会」において、多職種を対象として認知症への対応についての研修会を実施した。 実施日：8/22、10/24、12/19 参加者：延べ約90名 ・吉川松伏在宅医療サポートセンター主催の研修会を実施した。 (1) 医療関係者コミュニケーション講座 実施日：12/17 参加者：49名 (2) 医療・介護職ができる終末期ケア研修会 実施日：10/7 参加者：約40名
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。(開催日：平成30年8月20日、16名出席) ・メディカルケアステーション(MCS)の利用状況等に関するアンケートを実施した。(実施期間：平成30年11月下旬から12月中旬、対象192か所回収111か所(57.8%)) ・草加保健所管内専門職向け在宅医療研修会を実施した。(開催日：平成31年2月27日、39名参加) ・草加保健所管内在宅医療サポートセンター連絡会を設置し会議を開催した。(開催日：平成30年7月2日、16名参加)